

ゆたか看護部通信

No6

近畿大学付属福岡高等学校の病院説明会に参加しました。

12月20日（月）に飯塚市にある近畿大学付属福岡高等学校開催の病院説明会へ行ってきました。コロナ流行のために1年以上インターンシップや病院説明会が中止されていて、久しぶりの説明会でした。今回は看護部長と卒業生と事務職の3名で学校を訪問し、看護科3年生(38名)と専攻科1年生(37名)に病院をアピールしてきました。12病院が参加し、あらかじめ決められたタイムスケジュールで交代しながらそれぞれの教室で説明しました。

専攻科1年生は、2023年の4月に就職する学生です。まだ、就職と言ってもピンと来ないかもしれませんが、各病院からの説明、特に給料についてや福利厚生について等を聞いて少し自分が働くイメージがわいたのではないのでしょうか？

まず最初に、私からJCHOや病院・看護部について説明をしました。近隣の12病院が参加しましたが、全国規模の病院は少なかったので、JCHOで一番の有名人である尾身理事長やJCHOのスケールメリットについてアピールしました。

続いて、卒後11年目の卒業生に話をしてもらいました。職場の雰囲気や、結婚しても子育てをしながらも働き続けられる環境があることをアピールしてくれました。

学生にとっては、卒業生の生の声が嬉しかったようで、私の話を聞く時と卒業生の話を聞く時の表情が明らかに違い、輝いていました。

もっと、たくさん生の声が聞かれるので、来年から再開するインターンシップや病院見学会に、是非参加してほしいです。

近畿大学付属福岡高等学校は実習にも来ますので、実習を通して、「この病院で、このスタッフたちと一緒に働きたい。」と思ってもらえるように、頑張りましょうね。



【編集後記】

久しぶりの病院説明会に私も緊張しました。今年4月に当院へ転勤し、従来であれば各学校へ挨拶に回るころでしたが、コロナ禍でできないままでしたので、学校を訪問し、どのような学校かを知ることは私にとっても、有意義でした。企画をしてくださった、近畿大学付属福岡高等学校の先生方、ありがとうございました。